

未来の長浜市を創造するまちづくり委員会

第6回 都市基盤分科会 議事録

日時	平成21年11月4日(水) 10:00 ~ 11:45		
場所	長浜市役所浅井支所 2階 第3会議室		
議題	都市基盤分科会としての提言や要望のまとめについて		
出席者	竹内達夫会長、山口清幸副会長、山口忠義委員、金山正雄委員、土田良夫委員 中川定次委員、林滋彦委員、田中真浩委員		
市	分科会事務局 都市計画課 中川理事、中嶋参事、宮本		
6町	なし		
傍聴者	あり(1人)・ <input type="checkbox"/> なし	報道機関	あり(〇〇新聞社)・ <input type="checkbox"/> なし

【協議結果】

- ① 前回議事録の内容確認をし、承認を得る。
前回までは各町における都市基盤の現状や都市施設の要望について協議し取りまとめたきたが、分科会としてのまとめとしては、個々の要望をあげるのではなく、新長浜市の今後のまちづくりはどうあるべきか、安心安全なまちづくりを目指して新市に提言するという形をとることに決定する。
中間報告をベースに本日の協議内容を肉付けして分科会のまとめとする。
- ② 次回日程とテーマ
今回は最終回。
- ③ その他

【主な意見】 (要点列記)

協議経過

- | | |
|-----------|--|
| 会長 | 本日で中間的なまとめをしたいと思う。全体として、合併後に長浜市としてのまちづくりの基本はどういう方向で行ったらいいのかということを含んで論議をお願いしたい。 |
| A委員 | まず道路関係についてはどうですか。
県道木之本余呉線についてはすでに調査も終わり早期の着工が望まれているに内容変更していただきたい。 |
| 会長
事務局 | 道路関係について、13もの要望を羅列して出すべか。
できれば要望ばかりでなく、新市に対しての提言という形を取っていただければと思います。 |
| 会長 | 個々の要望は各町でも国県要望をしておられその中であがってきていると思うので、今後のまちづくりにこう形のものを用いるようにした方が良いと思う。 |
| B委員 | 道路に対する全体的な考えだが、今までみたいにバイパスを作れば便利であるとか道を広げたら安心であるとかいうような考え方でなく、人が安心安全に通れる道づくりにシフト転換していかなければならないと思う。 |

会 長 安心安全な道づくりを念頭においていくべきではないかと私も思う。

副会長 現在の財政状況では、新しい道路やトンネルを望むことは難しい。

A委員 提言として、現在の政権の動向を見据えた形を変えていったほうが良いように思う。知事も公共工事凍結に賛成をしておられるようだが、公共工事をストップすることにより地方の経済が疲弊することも考えなければならないと思う。要望は要望で、その頭となるような提言をしていったらどうか。

会 長 今までの要望は最終提言の中でどのような形で出てくるのか。

事務局 大まかなところを提言としてまとめ、その詳細な部分として要望があるというようにまとめ方にしなければならないと思う。

B委員 本日の資料の最後につけているものは、前回までの議事録をもとに分科会の中間報告という形でまとめられたものです。

会 長 今までの分科会の流れが要望事項、現状把握をしてきたのでどのようにまとめていったらよいのか。

副会長 分科会としてはこういうことも論議されたということで反映されたら良いと思うが、最終的なまとめでは、安心で安全な道路を確保していくというようなことを強調していったらよいと思う。

C委員 次にダム河川関係についてはどうですか。

副会長 分科会は要望重点項目を挙げるのではなく、将来の長浜市をどうするのかということから任命され協議をしてきた。

D委員 最後につけている中間報告のようなまとめ方のほうがインパクトがある。しかしここに乗っていない部分については精査しながら分科会で決めたことは必要最低限載せていかなければならない。

会 長 分科会の主旨は、副会長が言われたように個別具体論をあげるのではなく、合併基本計画にあがっている事項を煮詰めてもらう思いでつくられた。将来の長浜市の道路行政、河川整備等はどうあるべきかというまとめ方をしたほうが良いのでは。

E委員 国道365号や柳ヶ瀬トンネルの複線化などは、北陸との文化交流のための道として位置づけていただきたい。

会 長 北陸との文化交流を加味した道づくりということでもまとめて行きたい。ダム河川関係についても、住民の安全を守る立場からの河川清掃の必要性をあげていったらどうかと思う。

B委員 その他、どうですか。

C委員 都市計画区域について、新市内を一体的にまとめて強く進めていくような言い回しにしたほうが良い。

会 長 樹木伐採も大事であるが、河床が上がってきていることも問題。

C委員 官民共助の考え方が今後大切なのではないかと思います。まちづくり協議会などの住民参加の精神がほしい。

C委員 今町は、自治会においては実際姉川河川の清掃を実施しておられる。住民参加はこれからも必要。予算をつけてもらえると、さらに良いのでは。

会 長 まちづくり協議会はまだまだ踏み込み不足で今後の課題。

C委員 琵琶湖一斉清掃でも行政と自治会、住民が協同して行っている。

事務局 都市基盤づくりで工業団地の誘致などの話は上がらなかったのか。

C委員 産業分科会の方で話が出ています。

会 長 現在の1市6町の中で工業団地のあいているところは無く、都市基盤づくりを考えるという観点から、当分科会でも積極的に議論してもいいのではないかと思います。

会 長 河川ダム問題について、個々の問題でなく住民の生命生活を守るという面から

のまちづくりとしていきたい。河川整備、堤防強化の面を重視して。
A委員 丹生ダムも治水の面から必要という表現にしたほうが良いのではと思う。
会長 上下水道関係についてはどうですか。
C委員 水源の問題で、水道企業団の取水制限があるので今は精一杯だが、それぞれの町で水源を確保すれば、管渠をつないで区域拡大を図り、長浜市全体として水道事業の統一を図っていける。
副会長 農村下水道では、工場等を誘致しようとした場合キャパがいっぱいで無理なため、早期に公共下水道に接続してほしい。
事務局 先ほど話に出ていました工業団地を整備するためには、水の確保、下水の確保が必要です。農村下水に公共下水をつなぐためには、まず幹線を整備しなければなりません。まず木之本西幹線の整備が急がれています。
C委員 新長浜市が一体的に発展していけるようなかたりかけでまとめてほしい。
会長 公共交通についてはどうですか。
D委員 現在余呉で運行しているタウンバスが合併後どうなるのか、デマンドタクシーへの移行はどのような風に進められたのか教えてほしい。
事務局 旧浅井やびわでもタウンバスを運行していたが、乗客が少ないため支所（役場）を基点としたデマンドタクシー制度に移行してきました。
合併後各町のタウンバス等の運行をどうするのかについては、企画部門で協議検討を行っており、現況を勘案しながら検討しておられると思います。内容については申し訳ございませんが把握できていません。
C委員 舞鶴市では、タウンバスの乗車賃を一律 200 円にして運行しており、多くの人が乗っておられる。
会長 木曾町でも低額料金でバスを運営している。
B委員 いくら低額料金で運行しても乗る人がいなければ運営できない。
D委員 私としては必要なときに必要なだけ走るデマンドタクシーが有効と思っている。
会長 次に生活防災についてはどうですか。
事務局 高時川河川流域では長浜市の防災センター的な施設はないのか。
D委員 ありません。
事務局 消防団のことについてはどうなっているかわかりますか。
D委員 長浜では消防団に重きを置いていなく、消防署（常備消防）に防災の重きをおいていると聞く。伊香郡では昔から消防団の活動がさかんである。合併後、消防団の位置づけがどうなるのか。
事務局 旧浅井やびわでも消防団の活動は引き続いてしておられる。機能的には変わらないと思う。消防団としての位置づけは変わらないと思う。
会長 昨日長浜消防長に聞いたが、団の統一はできないので、そのまま維持していかなければならないと言っていた。
C委員 消防団のことについてもこの分科会であげていったらどうか。
事務局 防災の関係で、消防団は水防や地震災害での活動を行っていただきますので当分科会でも重要な課題ですので、取り上げたいと思います。
C委員 雪下ろしとかはどうしているのか。
D委員 雪下ろしをできない人のところは消防団が出ている。
事務局 消防団の下部組織はないのですか。
D委員 余呉町では下部組織（自警団）はない。そのかわりに、消防団員が多い。
C委員 長浜の消防団員数から考えると、人口比率で見ると圧倒的に多いことになる。
会長 消防の関係も提言にあげていきたいと思う。